

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	53 大阪市共同溝整備・改修計画（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	大阪市													
計画の目標	都市防災機能の向上とともに、道路の保全や安全で快適な通行空間の確保を図るべく、ライフラインである公益施設（上下水道、ガス、電気、通信等）を道路の地下にまとめて収容する共同溝の整備を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		8	A	8	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	R03末
1	共同溝整備率を、令和03年度末に89%となるように整備を推進する。 市域における共同溝の整備計画延長に占める整備済み延長の比率 共同溝整備率（%） = 大阪市域における共同溝の整備済み延長 / 大阪市域における共同溝の整備計画延長 × 100	64%	82%	89%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
大阪市強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A1														

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪市において評価を実施	令和4年度
	公表の方法
	大阪市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	共同溝の整備を推進したことにより、都市防災機能の向上、道路の保全及び安全で快適な通行空間の確保を図ることができた。 事業中の未完了区間について、引き続き事業進捗を図っていく。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
事業中の未完了区間について、継続して事業を実施している。	

(様式第3)

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	53 大阪市共同溝整備・改修計画 (防災・安全)	交付対象	大阪市
計画の期間	平成29年度～令和03年度 (5年間)		

[凡例]
— : 交付対象事業箇所

A53-1~2

